

2023（令和5）年度の大分県内における温室効果ガス排出量【概要版】

地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年10月9日法律第117号）第21条第16項及び第6期大分県地球温暖化対策実行計画に基づき公表する、2023（令和5）年度の本県における温室効果ガス排出量は以下のとおりである。

1 温室効果ガス排出量

●2023年度県内の温室効果ガス排出量2,939万5千t（二酸化炭素換算・吸収量考慮）

○原子力発電の電源構成比が前年度より増加したことから、電力のCO₂排出係数が改善し、CO₂排出量は減少した。

【参考】CO₂排出量 = エネルギー消費量 × CO₂排出係数

CO₂排出係数とは、エネルギー消費量あたりのCO₂排出量を示す数値。

＜県内の温室効果ガス排出量＞

	排出量 [千t-CO ₂]	排出量 [千t-CO ₂]	排出量 [千t-CO ₂]	2030 削減目標 (対2013) ※3	増減率 [%]		全国（2023年度） 増減率 [%]	
	2013 (H25)	2022 (R4)	2023 (R5)		対2013 年度	対前 年度	対2013 年度	対前 年度
温室効果ガス排出量 ①	38,877	32,038	31,943	▲30%	▲17.8	▲0.3	▲23.3	▲4.0
産業部門（製造業、鉱業等）	25,965	21,348	21,214	▲26%	▲18.3	▲0.6	▲26.7	▲4.0
業務部門（事務所・ビル、卸小売、病院等）	2,277	1,571	1,448	▲51%	▲36.4	▲7.8	▲29.7	▲6.2
家庭部門	2,372	1,736	1,195	▲66%	▲49.6	▲31.2	▲29.7	▲6.8
運輸部門（自動車、鉄道等）	2,700	2,179	2,168	▲35%	▲19.7	▲0.5	▲15.2	▲0.7
その他（工業プロセス、メタン等）	5,563	5,203	5,919	▲24%	6.4	13.8	—	—
森林吸収量 ②	—	▲2,535	▲2,548	—	—	0.5	—	▲0.2
温室効果ガス排出量（吸収量考慮①+②）	38,877	29,502	29,395	▲36%	▲24.4	▲0.4	▲27.1	▲4.2

※「大分県温室効果ガス排出量算定システム」を用いた推計による。

※表中の数字は四捨五入による端数を調整していないため、内訳と計は必ずしも一致しない。

＜県内の温室効果ガス排出量の推移＞



